

寅さん歩 その 15

江戸・東京(23 区)の百名山-15

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS 放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成 28 年 9 月 22 日放映終了) 4 年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイディアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区 44.6m の箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い 23 区順に紹介します。

今回は七番目に多い荒川区、渋谷区、中央区の各 2 山です。数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

[荒川区]

91. 道灌山

西日暮里 4 丁目 開成学園一帯
最寄駅 山手線 西日暮里駅

筆者の手島氏は開成学園一帯と言っていますが、道路で分断されている「西日暮里公園」がある隣の山まで含めました。写真下左は「西日暮里駅のホーム」から見た「開成学園」で、左側は「西日暮里公園」です。写真下右は「西日暮里公園」から見た「開成学園」です。開成学園は東大合格者 1 位です。



西日暮里駅脇の坂道(写真下左)を上ると、「西日暮里公園」(写真下右)です。「道灌山」についての説明板が沢山ありました。

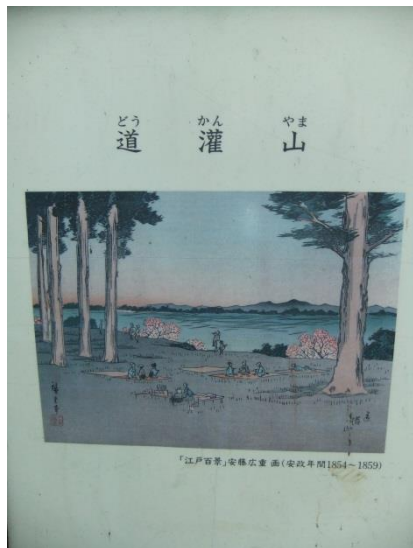


説明板によると『かつて、この地は「太田道灌」の砦で荒川(現在の隅田川)の雄大な流れ、筑波や日光山の山影を望むことができる景勝地で多くの人々が訪れました。明治7年(1874年)この一帯が旧加賀藩前田家に売却され、同家墓地として昭和47年(1972年)国元の金沢へ改葬されるまで使用されました。跡地に昭和48年「西日暮里公園」が開園されました』と記載。

別の説明板には『「道灌山」の地名の由来として、中世、この地(新堀)の土豪、関道閑(せきどうかん)が屋敷を構えたとか、江戸城を開いた太田道灌が出城を造ったなどの伝承があります。「ひぐらしの里」と呼ばれ、江戸時代人々は日の暮れることも忘れて、四季折々の景色を楽しんだことから「新堀」に「日暮里」の文字を当てたと言われます』と記載。標高22mとのこと。

十返舎一九は寅次郎絶賛の、こんな句を残しています。

「桃さくら 鯛より酒のさかなには
みどころ多き 日くらしの里」



広重の絵が説明板にありました。江戸時代は展望の良さと「虫聴きの名所」として人気の場所とのこと。お酒を飲みながら虫聴きとは、なんと風流なことですね。

92. 新堀山

西日暮里 3 丁目 諏方神社一帯
最寄駅 山手線 西日暮里駅

「西日暮里公園」前を道なりに進むと「諏方神社」(写真下左)があります。山は繋がっていたのでしょうか。昔の地名の「新堀」の名なので別の山と推定しました。神社の先には、今でも富士山が見えるという「富士見坂」(写真下右)です。



[渋谷区]

93. 代官山

代官山町 恵比寿西 1、2 丁目一帯

最寄駅 山手線 恵比寿駅/東急東横線 代官山駅

恵比寿駅北口から線路沿いに恵比寿西 1 丁目の坂を上りました。華やかなお洒落な街、代官山のイメージはありません。写真下右は代官山駅に近い頂上部です。

地名は江戸時代からだそうだが、代官が住んだとか、代官が管理する山林があったとかの説があるとのこと。



94. 千駄ヶ谷富士

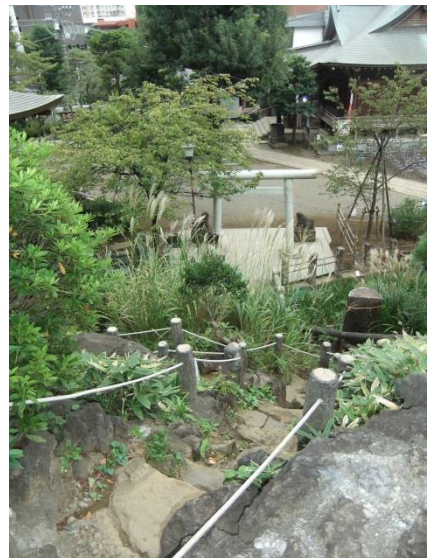
千駄ヶ谷 1 丁目 1 鳩森八幡神社内

最寄駅 都営大江戸線 国立競技場前、
中央線 千駄ヶ谷駅

説明板によると「寛政元年（1789 年）の築造と言われ、関東大震災後、修復されたが、築造当時の旧態をよく残し留めており、都内に現存するものでは最も古く、江戸中期以降、江戸市中を中心に広く庶民の間で信仰されていた富士信仰の在り方を理解するうえで貴重な資料である」と記載。高さ約 7 m。いつでも上ることができます。

「鳩森八幡神社」は貞観年間（627 年～877 年）創建で、

白鳩にまつわる、いい伝えから鳩森の名がつけられたと
のこと。



写真上左は山頂の祠、右は山頂から見た下の神社境内です。

〔中央区〕

95. 新樋の口山

浜離宮 1 丁目 1 浜離宮恩賜庭園内
最寄駅 都営大江戸線 汐留駅

この地はもと将軍家鷹狩りの場所で、承応年間（1652 年～1654 年）松平綱重の別邸となり、「甲府浜屋敷」又は「海手屋敷」と言われました。次いで 6 代将軍徳川家宣がこれを改め、「浜御殿」と改称し、「江戸城の出城」としての機能を果

しました。維新後は、宮内省の所管となり、名も「浜離宮」と改められ、皇室の離宮として、諸外国貴賓来訪の迎賓館に充てられました。海水引き入れた潮入りの池と二つの鴨場は今も残されています。昭和 20 年（1945 年）東京都に下賜され、整備し、昭和 21 年（1946 年）4 月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。昭和 27 年（1952 年）国の特別名勝及び特別史跡に指定されました。

筆者の手島氏は「新樋の口山」を百名山に選んでいるが、園内には他に「樋の口山」、「御亭山」、「富士見山」の築山があります。水上バス発着場の先の東京湾に面した「横堀水門」近くの山が「新樋の口山」です。「樋の口」とは水門の意味とのこと。写真下は新樋の口山と上り口（右）です。向う側は東京湾です。



写真下左は樋の口山（上れません）、右は御亭山



写真下は富士見山上り口と山頂から見た園内風景

特に秋の景色は良いです。寅さん歩 その12 東京の紅葉・
黄葉を参照ください。



96. 鐵砲洲富士

湊1丁目6 鐵砲洲稻荷神社内

最寄駅 京葉線/東京メトロ 日比谷線 八丁堀駅

平安時代創建の古社で、説明板によると「江戸湊の入り口に鎮座する神社として地域の人々の信仰を集めてきました。神社は寛永元年(1624年)頃稲荷橋南東詰めに遷りましたが、明治元年(1868年)現在地に移転し、今日に至っています。関東大震災により、被害を受けた境内は昭和10年(1935年)復興、整備されました。また西北隅には富士山の溶岩で築いた富士塚があり、そこを富士信仰の場としていました」と記載。戦災の被害は免れ、昭和の状況が残されています。



写真上左は社殿、右奥に寛政2年(1790年)築造の富士山です。写真上右は入口ですが、「危険ですので登らないでください」の注意書きがあります。鐵砲洲の名の由来は鐵砲の形をした入江、寛永の頃ここで大砲の射撃演習があったのが由来と伝わります。訪問時は社殿工事中でしたので、3年前に訪問の写真を使用しました。写真下は下から見た山頂です。



〔こぼれ話〕 三百年の松

「浜離宮恩賜庭園」の大手門入口を入り左手に、宝永6年(1709年)第6将軍家宣が庭園の大改修した時、植えられたと伝えられる松、太い枝が低く張り出し、今なお堂々たる姿を誇っている「**都内最大級の黒松**」があります。寅次郎、「三百年の松」は400年になったら、その名前は「四百年の松」になるのかと心配しました。



次回は江戸・東京（23 区）の百名山-16（最終回）です。

平野 寅次郎 拝